

審査会後に寄せられた委員意見と事業者見解

No.	対象箇所	意見等	事業者の見解
1	準備書 P. 6-2、6-3	当該施設の現在の設計案でのダウンウォッシュ、ダウンドラフトの出現頻度予測値を明らかにする必要がある。次に、出現頻度を低減する方策を説明する必要がある。また、構造上、経済上あるいはその他の理由でそれが困難な場合は、それを示されたい。	施設の詳細設計までに、適切に配慮します。
2	準備書 P. 8-78	表 8-1-70 に示される各条件について、当該施設に関する大気環境予測の際に考慮する必要があるのか、どの程度の出現頻度が予想されるのかを示されたい。 表 8-1-70 に、出現頻度とその算定根拠の欄を追加されたい。出現頻度が数%を超える場合は、年平均値の計算にも考慮すべき。	出現頻度は十分に少ないと考えられるので、年平均値の計算においては考慮する必要はないと考えています。
3	準備書 P. 8-85	表 8-1-79 に示される Briggs 式は、自立型の円形の煙突の場合の式であるが、当該施設に当てはまるか確認されたい。 排ガス量の変動とそれに伴う吐出速度の変動について、記述する必要がある。焼却処理量が一定でも、排ガス量がばらつきを持っているので、他の類似事例等を参考にしてその設定をされたい。	施設の詳細設計までに、適切に配慮します。
4	準備書 P. 8-85	P. 8-85 (b) ii の記述については、再確認されたい。 ダウンウォッシュは瞬間的な最大風速によって評価されるが、数式中の風速は 10 分間平均風速であり、それへの対応を検討すべき。	施設の詳細設計までに、適切に配慮します。
5	準備書 P. 8-274 表 8-10-10	温室効果ガス削減量の数値について、欄外に計算式を記入されたい。(年間予想発電量×排出係数-年間予想 A 重油使用量×排出係数)	温室効果ガス削減量の数値について、「表 8-10-9 計画施設の稼働に伴う温室効果ガスの削減量」(p. 8-272)の欄外に計算式を記入します。 なお、他の関係する表についても欄外に計算式を記入します。
6	準備書 P. 3-49	最終行の八幡海岸通 1996-39 の表記と下の表内の表記が合っていない。	表記の修正を行いました。
7	準備書 P. 6-4 下から 6 行 目	「それ加えて」→「それに加えて」に修正すること。	表記の修正を行いました。